

診療案内

【外来担当医師表】

【整形外科】

	月	火	水	木	金	土
午前	初診	菅※	菅※ (紹介予約のみ)	日野	市丸	担当医
			市丸 (第1・3・5週)			
	再診	菅	菅	菅	菅	原 (予約のみ)
			菅			
午後	再診(予約のみ)	菅	菅	菅	菅	菅
			菅			
			菅			

【整形外科を受診される方へ】

●初診の受付について

初診の受付は、スムーズな診療・検査のために
10時30分までで終了させていただきます。

受付人数が多く、午後の診療に支障をきたす場合は、人数を制限させて頂く場合がありますので、ご了承ください。
他院で診療歴のある方は、紹介状(診療情報提供書)や画像ファイルをご持参下されば、待ち時間が短縮され、検査の重複が避けられますので、ご協力をお願い致します。

●菅医師の初診について(※)

- ◎脊椎(首・腰部)以外の診察を優先させていただきます。
- ◎月曜日… 他医療機関からの紹介の方を優先するため、人数制限をさせていただきます。別の医師が担当する場合がありますので、ご了承下さい。
- ◎水曜日… 手術目的の他医療機関からの紹介のみ、予約制で診察させていただきます。

【診療時間】

平日：午前8時30分～11時30分 診療開始：午前9時00分
午後1時00分～3時30分 診療開始：午後1時30分
土曜日：午前8時30分～11時30分 診療開始：午前9時00分

【神経内科】

	月	火	水	木	金	土
午前	初診 再診	小西				
午後	再診 (予約のみ)	小西		小西		

【内科】

	月	火	水	木	金	土
午後	初診 再診	森 (第2・4週)				

【循環器科】

	月	火	水	木	金	土
午前	再診 (予約のみ)		久萬田		久萬田	

【皮膚科】

	月	火	水	木	金	土
午後	初診 再診 (予約)		中村 (第1・3週) 堀田 (第2・4・5週)			

【リハビリテーション科】

	月	火	水	木	金	土
午後	初診 再診 (予約のみ)	担当医	担当医 (第2・3・4週)			

【予約について】 ご予約の変更は、前日(月曜日の場合は金曜日)までの
平日 午後2時～4時 にお願致します。

予約専用
ダイヤル

075 - 754 - 6070

編集後記

がくさい病院が中京区に移転し早4年が経とうとしております。ご関係各位、地元の皆様のお力添えで安定した運営ができるようになりました。そこで、がくさい病院が目指していることや活動内容を皆様にご覧いただき、名前はズバリ「がくさいウォッチ!」。皆様に見て知って頂きたいという想いを込めています。ぜひ、ご覧頂き、感想をお聞かせください。



笑顔で健康に未来を歩いていくみんなのために。

創刊号

Volume.01

2017

がくさい Watch

| 広報誌 | がくさいウォッチ

特集 がくさい病院ってどんなところ??



HP 一般財団法人 京都地域医療学際研究所 がくさい病院

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1番9 TEL. 075-754-7111

▶ <http://www.gakusai.or.jp>



一般財団法人 京都地域医療学際研究所

がくさい病院

『がくさい病院ってどんなところ??』

病院広報誌『がくさい watch』の創刊にあたり、当法人の理事長である森洋一にがくさい病院の特色と今後についてインタビューをしました。



Gakusai Watch interview
Yoichi Mori

Q1 がくさい病院における診療の特色を教えてください。

京都市中京区に移転して4年目となりました。当院の特色は、人工関節手術やスポーツ整形を中心に「がくさいブランド」として確立されてきた『整形外科とスポーツリハ』と、移転前より取り組んできた回復期リハ病棟を中心とする『回復期リハ部門』です。スポーツリハではアスリートの方も受診しており、膝関節を中心とした人工関節手術もトップクラスの取り組みをしています。また脳卒中や骨折の患者さんを対象とした回復期リハ病棟も体制整備されてきました。京都府リハビリテーション教育センターの教育指定病院であること、回復期から在宅までのリハビリテーションを切れ目なくつなぎ、在宅でのリハの質が低下しないように、地域の医師会や在宅医療に取り組んでおられる先生方と連携を取れることが大きな特色です。

Q2 がくさい病院が大切にしている診療への取り組みはありますか。

何よりも患者さんとそのご家族のために、医師・看護師をはじめ職員全員が「安全で質の高い信頼される医療」を目指して取り組んでおります。チーム医療(チームアプローチ)体制を整備し取り組みを進めていますが、小規模な病院でするので、全職員が「患者さんが一歩病院に足を踏み入れられたときからチーム医療(チームアプローチ)が始まる」、そのような気持ちで、患者さんの視点に立った行動ができる病院にしていきたいと考えています。

Q3 がくさい病院の未来像を教えてください。

繰り返しになりますが、現在も取り組んでいる整形外科領域での「がくさいブランド」としてのスポーツ整形をさらに充

実させ、京都のみならず全国のアスリートが信頼して受診できる施設にすること、また回復期リハビリ部門では京都府リハビリテーション教育センターの教育指定病院としての機能を強化することが第一です。京都府のスポーツリハの中心的役割を担う療法士育成のセンターとしてスポーツ医科学センターの復活も目指しております。

地域医療においては、医療のみならず生活の質の確保のためにリハビリテーションは大切な部門であり、急性期・回復期・生活期における各カテゴリーでのリハビリテーションを担うセンターとして、また当院の基本である地域と緊密な連携がとれる病院である特色をフルに活かして急性期から在宅医療までの質の高いリハが提供できる医師・療法士の教育施設を担っていきたくと考えています。

Q4 地域においてがくさい病院が果たす役割とはなんですか。

当法人は、京都府医師会により京都府および京都市の援助を得て設立され、地域医療の草分け的存在として既に30有余年活動を続けています。「学際」という名称のとおり、地域における住民、医師会、多職種が立場や職種を越えて連携強化し、地域医療・地域ケアを提供することが大きな使命だと考えております。一般整形はもとより小・中・高から青壮年期にいたるまでのスポーツ障害の予防と治療、回復期から在宅までのリハビリテーション等により地域と密接な連携をとり大病院にはない機動的な医療とリハを提供することが大切だと思います。

Q5 関連施設にはどのようなものがありますか。

一般財団法人京都地域医療学際研究所では、がくさい病院・訪問リハビリテーションを始め老健がくさい、訪問看護ステーション、京都市域京都府地域リハビリテーション支援センター、居宅介護支援事業所、京都市鳳徳地域包括

支援センター、京都市北区地域介護予防推進センターと多くの関連事業所で地域の皆さんと連携しながら地域に密着した医療と介護を提供しています。

※(各事業の紹介は07-08ページ)

Q6 がくさい病院の広報委員会では、これから地域に向けて定期的に広報誌を制作していきます。森理事長はどのような広報誌にしたいとお考えでしょうか。

広報誌の一番大切ですが非常に難しい点は、様々な方々に実際に手にとって読んで頂くことです。そのためには目標・目的を明確にすることが必要です。患者さんや職員、またご紹介を頂いている医療機関など全ての方に読んで頂きたいと考えていますが、発行ごとに①誰に読んで貰うのか②何をアピールするのかを明確にしていこうと思います。何よりも、読んでいただく方に楽しい職場だな、安心して受診できるね、紹介しても安心、勤めてみようかななどと思って頂けるような広報誌にしたいですね。



[PROFILE]

理事長 森 洋一 | ●日本小児科学会専門医
●日本循環器学会専門医

1972年 9月 京都大学医学部卒業
1972年 11月 京都大学医学部附属病院にて研修
1973年 11月 国立京都病院(現京都医療センター)小児科勤務
1981年 4月 森小児科医院開業
2006年 4月 京都地域医療学際研究所 理事長就任
2006年 4月 京都府医師会 会長(現在は京都府医師会 顧問)
2017年 6月

がくさい探訪



訪問先その1

一般病棟 (整形外科・スポーツ整形外科)

整形外科疾患で主に手術目的の患者さんが入院されます。疾患は変形性膝関節症に対する人工関節置換術、スポーツによる骨折や靭帯損傷など多岐にわたり、若年層から高齢者まで幅広い年齢層の患者さんを対象にしています。整形外科専門医のもと、看護師、リハビリテーションスタッフなどが患者さんの個々の状態に応じ、最良医療サービスを提供します。

POINT

合同カンファレンス

毎週木曜日に多職種による合同カンファレンスを行っています。当院の整形外科疾患の中でも、人工関節やスポーツ整形はもっとも得意とする分野の一つです。特に専門性を必要とされる、膝の前十字靭帯損傷や半月板損傷、肘・膝・足に生じる離断性骨軟骨炎などに対する関節鏡下手術や骨軟骨柱移植術などを数多く行っています。



年間手術実績 (2016年度)

年間実施手術実績 **856件** 関節鏡手術実績 **428件**

〈主な手術例〉

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| ●人工関節置換術……120件
(再置換含む) | ●半月板切除術……105件 |
| ●靭帯断裂形成手術……114件
(十字靭帯) | ●関節滑膜切除術……83件 |
| ●靭帯断裂形成手術……3件
(内側膝蓋大腿靭帯) | ●半月板縫合術……63件 |
| | ●骨切り術……41件 |
| | ●関節鼠摘出術……10件 |
| | ●骨移植術……6件 |



看護部理念

心に寄り添う「患者さん中心の看護」を提供し、退院に向けて患者さん一人ひとりの新たな一歩を支援します。



訪問先その2

回復期リハビリテーション病棟

脳卒中や骨折などにより急性期病院で治療を受けられた患者さんが、再び生活能力を取り戻すことを目的に入院していただく病棟です。リハビリテーション専門医のもと、患者さんが生活能力を最大限発揮できるようリハビリテーションを行うとともに、入院中から退院後の生活を想定し、訓練時間だけでなく、入院そのものがリハビリテーションとなるよう、スタッフが一丸となって治療に取り組みます。

POINT

チームアプローチ

医師・看護師・ケアワーカー・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・ソーシャルワーカー等、多職種のスタッフを病棟に配属しています。また、合同カンファレンスには薬剤師、臨床検査技師も参加し、患者さんの一日も早い日常生活復帰を目指して、強力なチームアプローチを実践しています。



●最新のリハビリテーション機器を導入しています



リハビリテーションロボット

『歩行練習アシスト』

(TOYOTA自動車株式会社製)

重度脳卒中者の歩行練習を支援し、歩行自立度を高める目的で使用します。通常のリハビリテーション内容と関連させながら、歩行練習アシストの機能をうまく活用し、より最適な歩行が獲得できるようにスタッフ同士でのミーティングや研修会、研究活動を行い日々研鑽しています。

(京都府立医科大学リハビリテーション医学教室との共同研究)

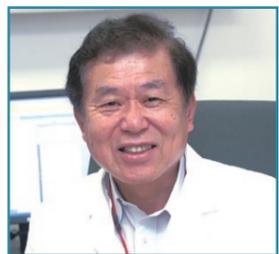


たよりになる医師の紹介 /

がくさいの 医師 File

当院は京都府および京都市の援助を得て

京都府医師会により設立され、
地域医療の草分け的存在として既に
30 有余年活動を続けています。



院長 神経内科
小西 哲郎

専門分野

- 神経難病全般
(特に免疫性神経疾患のうち重症筋無力症)しびれ

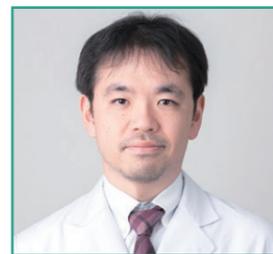
治療方針

的確な診断と患者さんに適した最新の治療の提供に心がけています。患者さんの訴えをよく聞いて、神経学的所見と必要な検査をすすめて病気を診断します。

パーキンソン病や重症筋無力症などの神経難病疾患の治療は、同じ病気の方でも治療法が異なり、患者さん個人に合った最新・最適の治療を行います。

趣味

- ゴルフ
- カラオケ



整形外科 部長
菅 寛之

専門分野

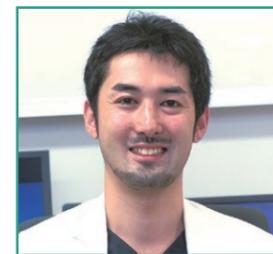
- 膝関節外科
- スポーツ整形

治療方針

患者さんのニーズに合わせて、様々な治療法を駆使して膝の痛みを黙らせる。

趣味

- カーオーディオ
- 買い物



整形外科 医長
日野 学

専門分野

- 膝関節外科
- スポーツ整形

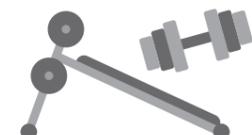
治療方針

個々に合ったベストな治療ができるよう心がけています。スポーツ障害・傷害では、早期復帰と長期的経過を見据えた治療方針を考えます。

膝の変性疾患ではスポーツ愛好家や人工関節を避けたい方には可能な限り骨切り術等の関節温存の手術や鏡視下手術も行っています。

趣味

- 筋トレ
- 銭湯めぐり
- 海外ドラマ鑑賞



リハビリテーション科 部長
前田 博士

専門分野

- リハビリテーション全般
- 脳卒中のリハビリテーション

治療方針

リハビリテーション科専門医として、それぞれの患者さんの希望に沿った治療方針と、わかりやすい説明を心がけています。また、よりよいリハビリテーションのために、積極的に薬物療法も取り入れています。

趣味

- テニス
- ゴルフ
- マラソン
- 写真



リハビリテーション科
児玉 直俊

専門分野

- リハビリテーション全般
- 心血管疾患

治療方針

生活習慣病や心血管疾患、関節疾患などの持病をお持ちの患者さんでも、リハビリテーションに集中できるよう適切な体調管理、栄養管理を行うことを前提としています。

その上で、目標設定を明確にしたリハビリテーションを効果的に進めるために他職種のスタッフと密な連携を取ることを常に心がけています。

趣味

- ゴルフ
- スノーボード
- ブレイクダンス
- 音楽鑑賞
- 読書



整形外科 医長
小牧 伸太郎

専門分野

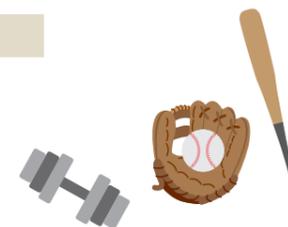
- 膝関節外科
- 一般整形外科

治療方針

丁寧な診察、わかりやすい説明、正確な診断と迅速な治療を心がけ、診療を行なっています。早期社会復帰、スポーツ復帰など、患者さんのご希望にも沿っていかねばと考えています。

趣味

- スノーボード
- スポーツいろいろ
- 音楽鑑賞
- 読書



整形外科
市丸 昌平

専門分野

- 膝関節外科
- 四肢の外傷
- 軟骨のバイオロジー

治療方針

患者さん一人一人の状態に応じて最適かつ標準的な治療法を実践しています。適切な薬物療法や理学療法で改善が見られない場合には積極的に手術療法を行っています。疾患に関する知識をできる限り患者さんと共有し、治療法を選択する際の考え方をわかりやすく説明するよう心がけています。

趣味

- BBCの無料ネットラジオで英語を嗜みながらおしゃれな音楽探し



京都に根付いた関連施設の強固な連携！

がくさい病院の関連施設

一般財団法人京都地域医療学際研究所は、京都府医師会により京都府および京都市の援助を得て設立され、地域医療の草分け的存在として既に30有余年活動を続けています。高齢化の進む地域社会の中核的医療施設としての責任ある立場から、医療、看護、介護、介護予防、リハビリテーション、健康維持増進、などを総合的かつ学際的に実践するユニークな施設として皆様の健康と福祉の向上に努めています。



介護老人保健施設「がくさい」

在宅支援・在宅復帰施設として、医学的管理、看護の下、介護及び機能訓練など総合的なサービスを提供し、利用者の方々が自立した生活を営むことができるようサポートしています。

● ベッド数：100床

〒603-8465
京都市北区鷹峯土天井町54番地
TEL.075-494-0318 FAX.075-495-2161



居宅介護支援事業所

自宅での介護を必要とされる方が、適切に介護サービスが利用できるように、ケアマネジャーが心身の状況や生活環境、本人・家族の希望などに沿って、ケアプランを作成したり、サービス事業所などとの連絡・調整を行います。

〒603-8214
京都市北区紫野雲林院町76番地
TEL.075-414-2662 FAX.075-431-6164



訪問看護ステーション「がくさい」

「京都府認定第1号」の歴史ある訪問看護ステーションです。訪問エリアは、北区・上京区。看護師の「24時間緊急対応」や、リハビリテーションスタッフによる「訪問リハ」もあり、利用者様のご自宅での生活をサポートします。

〒603-8214
京都市北区紫野雲林院町76番地
TEL.075-431-6154 FAX.075-431-6164



京都市域京都府地域 リハビリテーション支援センター

関連する専門職や地域資源をつなげ、切れ目のなく支える仕組みづくりを行い、地域におけるリハ関連従事者（施設や事業所の職員向け、連絡会・情報交換会等）の育成や技術の向上を図ります。

〒604-8845
京都市中京区壬生東高田町1番9（がくさい病院内）
TEL.075-754-7128 FAX.075-754-7101



京都市鳳徳地域包括支援センター

地域で暮らす高齢者の皆さんを、医療、福祉、介護など様々な面から総合的に支える為に、平成18年に創設されました。主任ケアマネジャー、社会福祉士及び保健師などが、連携を取りながら「チーム」として支援を行います。

〒603-8145
京都市北区小山堀池町10番地レスポアール紫明102
TEL.075-223-3511 FAX.075-223-3512



京都市北区地域 介護予防推進センター

京都市北区在住の65歳以上の方を対象に、年齢を重ねても住み慣れた地域で生活が送れるように、生活機能の維持向上を目指し、様々な取り組みを行っています。（京都市からの委託事業）

〒603-8465
京都市北区鷹峯土天井町54番地
（介護老人保健施設「がくさい」内）
TEL.075-494-0323

Gakusai
Watch
PICK
UP!

スポーツリハビリテーション 解説



個人個人に合ったリハビリテーションを提供します。

当院は入院・外来でのリハビリテーションを実施しています。運動疾患のリハビリテーションでは、スポーツによる骨折や靭帯損傷、加齢に伴う変形性関節症に対する人工関節、高齢者の骨折や運動器不安定症に対するリハビリテーションなど、幅広い年齢層を対象とし、急性期リハビリテーションを積極的に実施しています。特にスポーツ外傷・障害に対しては、レクリエーションスポーツから競技スポーツまで、患者さんのレベルやニーズ、競技特性をふまえ、アステック・リハビリテーションを行っています。同じ疾患でも患者さんの機能に合わせた治療プログラムを考え、個人個人に合ったリハビリテーションを提供します。

また、病気やケガから改善・復帰するだけでなく、スポーツの現場において選手をとりまく様々な人たち・環境などにも配慮し、スポーツ障害の予防に対してもサポートを行っています。



サイベックス (CYBEX) | 筋力測定



筋力測定は、簡単なようで実はとても難しい検査です。診察室でよく行う簡便な方法に「徒手筋力検査」というものがあります。これは、検査者と力くらべをして6段階で筋力評価を行うものです。6段階のみの大まかな検査であること、検査する人によって評価が異なる場合があることなどの課題もあります。これらの課題を解消するため、当院のリハビリテーション室には、筋力を数値化して評価する装置である「サイベックス」を設置しています。様々な関節角度でデジタルデータとして筋力が測定可能であり、トレーニングの結果を正確に評価・比較するなど、様々な場面で使用されています。また、筋力増強訓練にも使用しています。

がくさい キッチン

第1回
豚もやしの梅ポン酢
～レンジ調理で、炒めるより油をカット～



〈1人あたり〉

エネルギー
296
kcal

たんぱく質
10.8
g

食塩相当量
2.3
g

🕒 約 15 分

材料 (2人分)

もやし…………… 1袋
豚バラ肉…………… 120g
小ねぎ (小口切り)…………… 10g
梅干し…………… 2個
塩、こしょう…………… 各少々
ごま油…………… 適量
ポン酢…………… 50ml

作り方

- 1 もやしを洗い、水分をきって耐熱皿にのせ、塩、こしょうをふる。
- 2 梅干しは種を取り、包丁でたたき、ポン酢とあわせる。
- 3 1のもやしに豚肉を重ね、ごま油を回しかけ、再度塩、こしょうをふる。
- 4 ふんわりとラップをかけ、電子レンジ (500w) で約 5 分加熱する。小ねぎを散らし、2をかける。

— 栄養のおはなし —

もやしは90%が水分で低カロリー。動脈硬化の予防などのアンチエイジング効果があるポリフェノールが豊富に含まれます。また、消化酵素のアミラーゼも生成され、胃腸を整え食欲増進に効果があります。見た目とは異なり、栄養価が高くヘルシーフードといえます。豚肉に含まれる、ビタミンB1は疲労を回復します。